

「信州 BIM/CIM 推進協議会」設立趣意書

建設産業は、人口減少や従業員の高齢化に伴い、近い将来深刻な担い手不足が懸念されている。また、3Kといわれる職場環境が、若者が入職あるいは定着しない一つの要因となっている。このため、国や自治体は i-Construction を推進し、建設現場の生産性向上を図るとともに、建設産業を魅力ある職場とすることで、担い手確保にも取り組んでいる。

BIM/CIM とは、公共事業の計画・設計から施工、管理、更新に至る一連の建設生産システムに 3次元モデルを導入し、各段階での情報の一元管理によって業務の効率化・高度化を図る取組である。設計段階では、従来の平面設計に替えて 3次元データを用いることで設計の自由度が向上し、設計の合理化・省力化が期待される。また、施工段階では、構造物の配筋や施工時の状態を段階的に可視化することで、手戻りの防止や施工性・安全性などが事前に確認できる。国では BIM/CIM を i-Construction における生産性革命のエンジンに位置付け、2025 年度には本格導入するとして試行を進めているところである。

このような中、長野県においても BIM/CIM の重要性を認識し、民官協同のもとで BIM/CIM への取組を先進的に進めるため、本協議会を設置するものである。

本協議会では、BIM/CIM の導入に向けて、建設コンサルタンツ協会、国土交通省、長野県の「民・官」と、信州大学工学部、長野工業高等専門学校「学」が連携して各種事業を実施し、BIM/CIM に関する知識や技術の確保・向上とともに、若手技術者を育成し、本県建設産業の継続的な発展に資することを目的とする。

令和元年 10 月 31 日
信州 BIM/CIM 推進協議会